

理事からのメッセージ

TTC創立40周年を迎えて

理事

巻口 英司(日本電気株式会社 顧問)



TTCの創立40周年、誠におめでとうございます。情報通信分野が大きく進展し、また激変する中で、これまでTTC及び関係者のみなさまが果たされてきた標準化推進への貢献に、大いなる敬意を表します。

我が国の情報通信技術は技術的には優れていても、いわゆる「ガラパゴス化」して世界のマーケットを抑えることができない状況が続いてきたため、それを打破するためにも標準化を主導することが必須だと考えられてきました。私自身も、前職の総務省に勤務していた時に、そうした歯がゆさを感じつつ、TTCとの連携も含めて、色々と標準化に関わる仕事に携わってきました。衛星通信を担当したときには、ITUの会議に民間企業のみなさまと一緒に参加して標準化に向けた調整業務に当たりました。ITU選挙にも何度か関わりました。また国内では、情報通信審議会でもITUの各種会議への対処方針を企業のみなさまと検討することに加え、企業の経営層の方々に標準化が経営に直結する重要事項であることをご理解いただくための取組みなども進めました。さらに、標準化を獲得した後のビジネス展開としては、日本の地上デジタル放送標準であるISDB-Tを中南米をはじめとする世界各国の政府や放送事業者を採用してもらうべく、これも民間企業の方々と一緒になって働きかけ、かなりの成果をあげました。

こうした経験を踏まえ、民間企業で働くようになってからも、標準化の重要性に対する認識は薄れることがありません。現在も進展中の5GにおけるオープンRAN/vRANの普及や、その先の5G/6Gの標

準化にも期待しています。

NECは標準化活動に戦略的に取り組んでいます。標準化が、先進技術を普及し社会重要性を高めることにより、ビジネスのチャンスを拡大するものだと確信しているからです。情報通信やAI/生体認証などの重要な技術分野においては、標準化委員会の委員長やボード委員といった重要な役職を担い、国内外の標準化活動にて主導的な役割を果たしています。具体的には、ITU-Tでは、TSAGとSG20にて副議長を担当しています。TTCにおいても、IoT・スマートシティ専門委員会委員長を担当するほか、マルチメディア応用専門委員会、3GPP専門委員会、AI活用専門委員会で副委員長を、技術調査アドバイザリグループでサブリーダを担当しています。新設されたIOWN-GF専門委員会にも委員参加し、IOWNに関するITU-Tでの国際標準化に共同提案などの形で貢献しています。さらに、総務省の情報通信審議会の会長に当社の遠藤信博特別顧問が就任し、我が国の標準化政策を推進しています。また、ビジネスをより強固にするため、標準化関連特許の強化や活用も進めています。

「不惑」を迎えたTTCが、今後さらに惑うことなく標準化推進の道を歩み続け、関係者のみなさまが産学官一体となって協力し、我が国の情報通信産業が一層発展することを期待しています。NECとしてもTTC及び関係するみなさまと手を携えて、引き続き標準化活動を推進していきます。また、私自身も微力ながらその一助となれるよう尽力する所存です。